

# 小中一貫教育を進めています



牧之原市教育委員会



## 小中一貫教育って何？

小・中学校の教員が目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育のことです。牧之原市の小中一貫教育では、教員だけでなく、地域や家庭と目指す子ども像を共有して教育活動をしていきます。



## なぜ小中一貫教育を進めるの？

市教育委員会では、子どもたちがこれからの変化の激しい社会を生き抜き、さらに子ども自身の力で自分の未来を切り拓くことができるようになってほしいと思っています。  
そのために必要な力を「次代を切り拓く力」と定義して、義務教育の9年間を通して、子どもたちに、心身のたくましさや思いやりの心を大切に、多様な人・もの・ことと触れ合う中で、多様性を受け入れ、新しい考え方やアイデアを生み出し、主体的に行動できる力の基盤をつかっていきたいと考えたからです。

### 【小中一貫教育でできること】

- 9年後の子どもの姿を共有し、一貫した指導ができる
- 小学校の教員は、小学校で教えたことが中学校でどのように活かされているかを知り、授業改善や生活指導に活かすことができる。中学校の教員は小学校でどのような学びをしてきたか、また子どもがどのような特性を持っているかが分かり、授業づくりや指導に活かすことができる
- 小・中学校の教員のよいところを吸収しあえる
- 小学校の一部教科担任制の導入がしやすい
- 異年齢の子どもや多様な教員との関わり合いの機会や学習集団を確保することができる
- 乗り越えられない段差をなめらかにできる⇒「中1ギャップによる不登校」の減少

## 牧之原市が小中一貫教育で目指す姿

### 子ども

次代を切り拓く力をつける

### 学校

9年間のつながりある教育

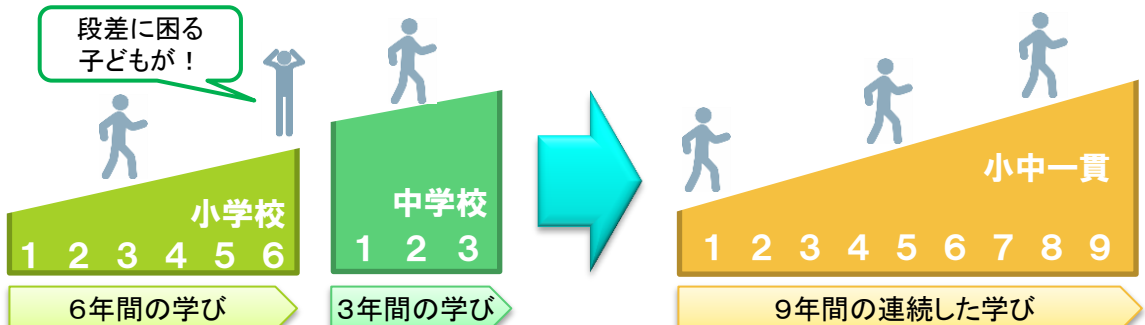
### 教員

一人ひとりの子どもを支える

### 家庭・地域

子どもの成長を見守り、ともに育む

段差の  
なめらかな  
実現





## 小中一貫教育の効果は？

文部科学省が行った小中一貫教育の導入状況調査（平成26年度、平成29年度に実施）によると、導入した学校のうち、「大きな成果が認められる」、「成果が認められる」と答えた学校は、平成26年度は96%、平成29年度は99%でした。

また、平成30年8月に示された国立教育政策研究所の調査によると施設分離型より施設一体型の学校の方が成果を実感しているという結果が出ています。



【導入した学校の80%以上が「成果あり」と回答したもの（一部抜粋）】

- 学習意欲が向上した
- 学習習慣の定着が進んだ
- 規範意識が高まった（落ち着いた）
- 子どもの学校生活への満足度が高まった
- 思いやりや助け合いの気持ちが生まれた
- 児童の中学校への不安が減った（中1ギャップが緩和された）
- 小中学校の教員間で協力して指導にあたる意識が高まった
- 教員の指導方法の改善意欲が高まった
- 教員の生徒指導力が向上した
- 特別支援を要する児童生徒へのきめ細やかな指導が充実した
- 小・中学校共通の取組が増えた

【導入した学校の60%以上が「課題あり」と回答したもの】

- 小中の教職員間での打ち合わせ時間の確保
- 教職員の負担感・多忙感の解消



## 牧之原市ではどんな小中一貫教育の取組をしているの？

平成31年3月に策定された「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」に基づき、キャリア教育を軸とした小中一貫教育を進めています。

現在、9年間の教科のカリキュラムやキャリア教育のプログラムを作成中です。

※キャリア教育とは一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことを促す教育（平成23年1月31日中央教育審議会より）

### ● 「学びと育ちのスタンダード」の作成

各教科や生徒指導についての9年間の系統図を試行・実践・改善をして作成します。

### ● 「学びと育ちをつなぐ小中連携事業」の実施

現在の中学校区ごとに小中一貫教育を目指した連携事業を研究していきます。

指定年度	2～3年度	3～4年度	4～5年度
指定校	○牧之原中学校区 ・牧之原小学校 ・牧之原中学校	○榛原中学校区 ・川崎小学校・細江小学校 ・勝間田小学校・坂部小学校 ・榛原中学校	○相良中学校区 ・相良小学校・菅山小学校 ・萩間小学校・地頭方小学校 ・相良中学校

※研究指定校は現在の中学校区であり、この枠が再編する学校ということではありません。地頭方小学校のみ現在の中学校区と異なります。

### ● キャリア教育の推進

牧之原市のキャリア教育を、「郷さとに学び、自らの将来を見通し行動を起こす教育」として、総合学習や教科等でキャリア教育の考えを取り入れたプログラムを作成します。

